



横須賀市立夏島小学校 学校だより

～夏小タイム～



なっつ ShowTime

校長 山崎 亨

令和5年度がスタートし、早3週間が経ちました。各クラスを覗いてみると、多くの子どもたちが落ち着いて学習している姿を目にし、先生方も全力投球で授業に臨んでいます。

さて、今号は本校の学校教育目標実現に向けての取組をご紹介します。

学校教育目標『じぶんがすき あなたがすき このまちがすき あたたかな学校』

1. じぶんがすき

(1) 子どもの自己肯定感を高める

我々大人は、つい結果に対してのみほめがちになってしまいますが、大事なものは、結果だけではなく、挑戦や努力をした行動のプロセスと言えます。教職員が子どものがんばりを認め、励ます声かけを継続していきます。その子にほんのわずかでも、進歩やよい変化が見られたら、まず「ほめる」ことを心掛けていきます。

2. あなたがすき

(1) 縦割り活動の時間を充実

縦割り活動のねらい

- ①異学年の交流を図ることで、親睦を深める
- ②下級生の世話をする中で、上級生としての自覚を育む

遊びの中では、高学年と楽しそうに遊ぶ低学年の姿があり、低学年の子たちがやがて高学年になったとき、同じように低学年の子どもたちのお世話にしてくれる姿を期待したいです。

異学年との交流は、よりよいつながりのサイクルをつくるきっかけとなります。上級生にとっ



では縦割り班での遊びをうまく進めるためには、リーダーとしてのさまざまな配慮が必要であり、これからの社会を生き抜いていくうえでとても大切な力を育てる機会であると考えます。縦割り活動を通して、自分の事だけでなく周囲の事にも配慮できる人に育ってほしいです。

(2) インクルーシブ教育の推進

自分以外の他者を受け入れる心を持ち、助け合える人になってほしいと思います。すべての子どもが自然な関わり合いを経験することによって、多様性を認め、互いの個性を尊重し、他者と協働する力を育てていきます。



3. このまちがすき

(1) 郷土に対する理解と関心を深める体験活動の充実

地域の教育資源を活用し、子どもたちが地域との交流や郷土に対する理解と関心を深める体験活動の充実が必要と考えます。地域全体で未来を担う人材を育てることで、郷土愛を育み、横須賀（夏島）に住み続けたい、将来、横須賀（夏島）に戻ってきたいと思う子どもたちが増えるまちを目指していきます。

(2) あいさつが飛び交う学校やまちに

「自分から人に関わること」「礼儀正しく人と接すること」等は、学校や社会で生活していくうえで重要です。学校内や地域等できちんとあいさつをすることは、人とのつながりを築いていく上で欠かせない行動です。あいさつが飛び交う学校やまちであり続けたいです。

あたたかな学校の実現に向けて

『温かい』・・・あたたかいもてなし、あたたかい眼差しなど、

愛情や思いやりなど心で感じる

『暖かい』・・・暑くも寒くもなくちょうどよい状態

心と身体全体で感じる二つの『あたたかさ』を兼ね備えた学校を目指します。

学校教育目標実現に向けて、教職員一同全力で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。